

## 別紙2 対話結果の公表（様式）

地域の観光資源を活用した地域経済循環の官民連携事業公募型プロポーザルに向けたサウンディング型市場調査の対話結果の公表について

令和5年8月31日

鳥取県大山町 総合戦略課

### 1. サウンディング実施の経緯

本町では、「アウトドアライフ構想」を策定しその実現に向けて様々な事業展開をしているところです。そこでこの度、大山寺エリアにおける空き家、空き地を活用し、観光客の誘致等を図る施設を整備することを計画しました。大山の環境に配慮し、大山の資源を活かしたアクティビティが楽しめる持続可能な観光地にすることを目的とした施設を建設するため、民間事業者の皆さまと対話することで、市場性の確認、参入しやすい公募条件の整理のアイデアを把握するため、サウンディング型市場調査を実施するに至りました。

その結果を別紙のとおり公表いたします。

## 2. サウンディングの参加者

(業種 コンサルティング事業者：1社)

(業種 アウトドア関連事業者：1社)

合計：2社

## 3. サウンディング結果の概要

以下にいただいたご意見を参考としながら、地域の観光資源を活用した地域経済循環の官民連携事業公募型プロポーザルの実施要項の内容を検討いたします。

提案者の業種①	コンサルティング事業者
提案の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活性化に関わる人材や団体を呼び込めるような事業設計が理想。</li><li>・大山エリアは今後、インバウンドを含めた観光エリアとなりうることから、施設は地域活性化にかかわる人を惹きつける場所をつくることを提案。</li><li>・施設についてはコンテンツの入れ替えが可能な設計提案もできるようにして欲しい。</li></ul>
事業方式	施設の賃貸の想定で良いと思料
施設整備のアイデアについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活性化にかかわる人が集え、新しいことに挑戦できる施設がよい。</li></ul>
集客のアイデアについて及び事業実施にあつた条件や課題について	<ul style="list-style-type: none"><li>・まずは町全体で他地域から地域活性化に資する人材を受け入れていることをアピールすること。</li><li>・都会と地方で活動を行ったバックグラウンドを有した方々にアプローチできるようにすることが重要。</li><li>・この活動と同時に、地域を盛り上げようとする方々が集える施設の設計提案も可能となるような実施要項であると理想的である。</li><li>・また、大山にはさまざまな食材がある。こうした食材を活用した事業が実施できるとよい。</li><li>・なお、この場合見せ方が重要であるから、このような活動のできる人材が活用できる施設も集客のためには効果的であると思料。</li></ul>

提案者の業種②	アウトドア関連事業者
提案の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業の実施エリアは国立公園内であるから、当該エリアにあつては、自然公園法を理解している事業者が参入できると良い。</li> <li>・したがって、これまで国立公園を有する自治体と連携事業した実績のある企業等を対象とすべき。事業の計画段階で環境省と調整できる事業者が望ましいと考える。</li> <li>・また、大山町の「アウトドアライフ構想」の実現を目指すのであれば、アウトドア関連の事業者が事業提案できる条件だと良い。</li> </ul>
事業方式	施設の賃貸の想定で良いと思料
施設整備のアイデアについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山の歴史文化や自然の景観に馴染んだもので、かつ、観光客の新たな導線をつくれる施設がよい。</li> <li>・地域の活性化をメインとすべきなので、当該事業の実施においては、宿泊施設は馴染まないと考える。</li> </ul>
集客のアイデアについて及び事業実施にあつた条件や課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山町がアウトドアライフ構想を進めているのであれば、アウトドアブランドの進出が望ましいと考える。</li> <li>・あくまで理想であるが、ナショナルブランドの進出があれば、大山は変わると思う。</li> <li>・インバウンドにも効果がある。海外の富裕層は、日本の秘境に行ってみたいというニーズがある。</li> <li>・まずはこうした取り組みで、集客数を増やし、賑わいを作る。</li> <li>・これに伴って、地元の方などがスタートアップで週末の屋台（夜間も含む）などができるような取り組みができれば、既存の宿泊事業者、観光客、地域の方々にとってもメリットがある。</li> </ul>